

郡中 進路だより

No.24 令和 4年10月21日
大村市立郡中学校
チーム郡 思いを力に!
文責:進路指導主事 増田弘実

諫早高校について

先日、諫早高校の入試説明会があり参加してきましたので、その内容についてお知らせします。

はじめに、諫早高校の定員は7クラス280名ですが、そのうち3クラス120名は附属中学校からの進学者がいるので、募集定員は160名です。このうち20%32名が前期選抜の定員で、残りの128名が後期の選抜定員ということになります。

諫早高校の特色として、A特色選抜をA区分とI区分に分けていることがあげられます。A区分というのは、「学力枠」です。I区分は「文武両道枠」です。B文化スポーツ特別選抜は指定の部活動が陸上競技、バレーボール、剣道、野球の4競技になってしまうので、これ以外の部活動(文化部など)で頑張った人は、こちらで出願することになります。

I区分では、出願の際に「活動履歴書」が必要となります。これは評価を希望する公式試合などを2つまで書くことができるものです。大会区分(全国大会、九州大会など)、大会名称(主催者名)、学年、結果、出場状況の詳細、賞状等の添付書類の有無について記載します。

中体連主催でなくても、上位の大会(地区大会よりも県大会、県大会よりも九州大会、九州大会よりも全国大会)を記載してほしいということでした。

また、部活動において務めた「リーダーとしての役職」(例えばキャプテンなど)を書く必要があります。

入試について

募集学科・募集定員

課程・学科名	募集定員	前期選抜		後期選抜
全日制普通科	160名	32名	A特色選抜	募集定員から前期選抜での合格者数を除いた数
			B文化スポーツ特別選抜 8名以内	

通学区域

前期選抜		後期選抜
A特色選抜	B文化スポーツ特別選抜	県央学区・調整区域
県央学区・調整区域 学区外から2名まで	県全域	学区外から、「11名から前期選抜での学区外合格者数を除いた数」の入学が許可される

A特色選抜

(1) 求める生徒像

① A特色選抜 A区分

- ・人物が優れており、高校入学後も向上しようという意欲の強い生徒
- ・学業成績が優れており、向学心が旺盛で主体的な学習者として、日々努力できる生徒

② A特色選抜 I区分

- ・人物が優れており、高校入学後も向上しようという意欲の強い生徒
- ・学業及び部活動において文武両道を体現し、入学後もリーダーシップを発揮し、協働的に活動できる生徒

③ B文化・スポーツ特別選抜

- ・人物が優れており、高校入学後も向上しようという意欲の強い生徒
- ・体育的活動で顕著な成績を残し、入学後も継続して活躍が期待できる生徒。

なお、体育的活動に係る競技は、陸上競技・バレーボール・剣道・野球の4競技に限る。

前期選抜の選抜方法

選抜区分	検査の方法	各検査項目の比重	
		調査書等	面接
A特色選抜	面接	5	5
B文化スポーツ特別選抜	面接	3	7

後期選抜の選抜方法

各検査項目の比重			各教科の配点				
調査書等	学力検査	面接	国語	社会	数学	理科	英語
2	7	1	150	100	150	100	150

※国語と数学と英語に1.5倍の傾斜配点

定時制について

諫早高校には大村高校と同様、定時制があります。定時制入試は、以前は2月に推薦入試が実施されていたのですが、前・後期試験になってから、2月の試験はなくなりました。定時制に前期選抜はありません。全日制の後期選抜と同じ日程で行われるのがI期検査。後期選抜の合格発表後に行われるのがII期検査とよばれます。I期検査は全日制後期試験とまったく同じ日程で行われます。

II期選抜は作文・面接のみで学力検査はありません。定時制選抜ではI期、II期ともに「追検査」は実施されません。

定時制を卒業するには、4年間で76単位すべてを修得する必要があります。余分な単位はないので、1科目もおろそかにはできません。全科目合格しなければ卒業できません。

定通併修制度について

定時制の修業年限は4年間ですが、希望する生徒には3年間で卒業できる制度(定通併修制度)があります。これは4年時に学ぶ授業内容を、通信制高校(鳴滝高校通信制)で修得することにより3年間で卒業できるという制度です。通信制での併修は2年生と3年生の2年間かけて行います。この制度については、1年生の3学期に説明するそうです。

入学生のおほとんどが定時制を見学してから入学しているそうです。保護者から直接の連絡で構わないので、まずは学校の様子を見てほしいとのことでした。